

交通安全教室を行いました

7月1日、交通安全教室が行われました。ホールに3～5歳児クラスの子どもたちが集まり、実際に歩行者信号機の模型を見て、「赤は危ない。しっかり止まる」「青は、みぎ・ひだり・みぎを見てから、手を挙げて渡る」ということやブレーメンの音楽隊を題材にした交通安全の紙芝居を見たり、体操をしたりして交通ルールを楽しく学びました。また、4、5歳児クラスの子どもたちは横断歩道が描かれたマットの上を歩いて渡りました。少し緊張した表情を見せながらも学んだ動作をやってみる子どもたちでした。



「ケンちゃん」という人形のお友だちも一緒に参加して、信号機の見方を確認しました。

紙芝居では、登場する動物たちが無事に目的地に到着できるよう、子どもたちがガッツポーズをして応援をしました。



体操では「交通事故をやっつけるぞ!」という気持ちで交通ルールを確認しながら全身をつかって踊りました。



横断歩道を渡る時は、みぎ・ひだり・みぎを見て、車が来ていないかをしっかり見てから手を挙げて渡ることを学び、実際に渡ってみました。



「とまどのお約束」

- ととまる
- とまつ
- ととびださない

横断歩道を渡る時のお約束をしました。おうちでもぜひ確認してみてください。



交通安全指導員の方から「宿題」が出されました。それは…「今日学んだことをおうちの人に一つ教えてください」ということです。ぜひ、お子さんとお話ししてみてください。